

整備事業予算が確定

「阪南公設市場跡地」を地域防災活動拠点として整備へ
～整備方針を橋下前市長が表明、そして吉村新市長が踏襲し整備～



以前より、阪南地域の住民の皆さんが要望していた「阪南公設市場跡地」活用方法について、更なる大きな前進がありました。

2014年11月、橋下前市長が、該当地に関して、売却方針から一転し、「防災公園として位置付けた整備の方向に」と表明しました。

今回、『阿倍野区防災空間整備事業』として設計予算が確定しました。

《事業スケジュール及び事業費》	
平成28年度	設計：約2,884千円
平成29年度	整備工事：計上予定

今後は、事業の詳細について、住民の皆様と市・区・消防局を含めた関係各局とが協議する方向となっております。災害時には一時避難所として、また、日頃は地域防災活動や地域活動の場としても使える防災公園として整備されます。

大規模災害時、空地の少ない住宅密集地である阪南地域において、現在、大阪市が指定する避難場所は、阪南小学校・阪南公園・播磨大領公園の3か所です。しかし、南港通より南の住民の皆様にとっては播磨大領公園が近距離の一時避難所となりますが、公園が住吉区との境界になっており、区境の場所に避難する形になります。また、南港通より北側は大阪市が指定する密集市街地であり、密集市街地からの避難者の避難先としても重要な場所に位置し、特に防災対策が必要な地域です。

阪南地域の住民数を考えると、想定される被災者数は、現状の防災拠点だけでは対応できません。また、南部地域にはお年寄りや単身高齢者世帯が多く、万が一の場合、南港通を横断しなければならず、指定避難場所への誘導や補助には人手が足りない状況が想定されます。

具体的に、一時避難所の誘致圏域を250mと設定すると、周辺の大阪市が指定する避難場所・一時避難所からの250m範囲を見ると、「阪南公設市場跡地」付近は空白地となります。今回この事業で計画地を活用する事により、その空白は解消されます。

こうしたことから、以前より、地域住民の皆様が一丸となって「阪南公設市場跡地を防災公園に」と要望しており、改めて2014年10月には2,676名分の署名が市長及び阿倍野区長に提出されていました。また、私自身、防災面の地域実情を踏まえると、皆さんと同じくその必要性を感じ、2014年11月、橋下前市長に大阪維新の会阿倍野区選出議員団による要望書を私から提出しました。

当初、大阪市は財政状況を鑑み該当地を売却する方針でした。2014年に、橋下前市長が方針を変更したのは、「地域のことは地域で考え、責任を持つ」という住民自治の姿が署名活動を通して垣間見られ、その後押しによって、改めて防災面での行政的な判断を再検討したからだと思われま。



【阪南公設市場跡地 概要】
所在地：阿倍野区阪南町6丁目3番
(地番表示：阪南町6丁目66)
面積：1067.81㎡
平成14年10月に公設市場廃止

大阪市が指定する災害時避難所(阪南連合地域)		一時避難可能人員	収容避難可能人員	国勢調査による人口・世帯数(阪南連合地域 H22.10.1時点)
収容避難所	阪南小学校	4,800人	1,040人	
一時避難所	阪南公園	2,200人		
	播磨大領公園	3,100人		
人口				12,297人
世帯数				5,590世帯

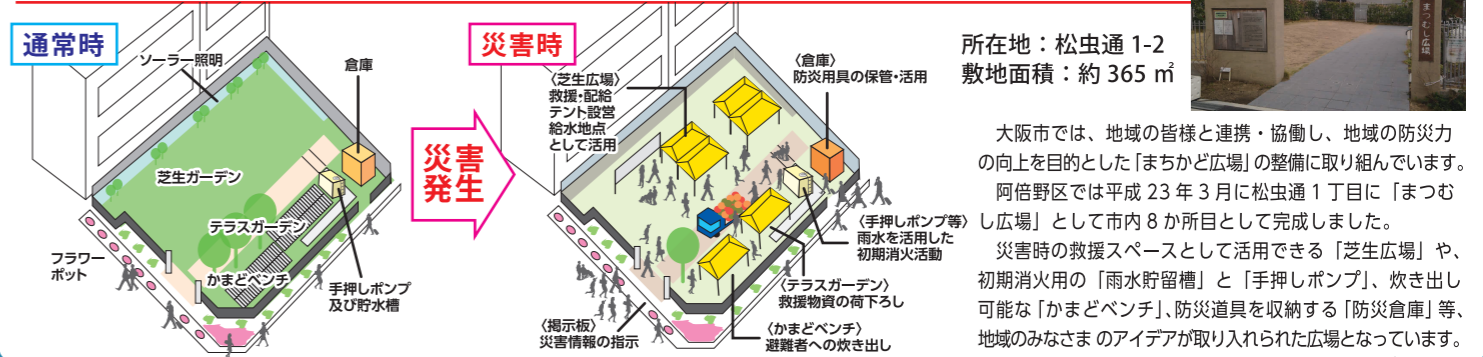


2014年11月28日、橋下市長に要望書を提出しました。

そして、今回その方針を吉村新市長が踏襲し整備事業予算(設計予算)が確定しました。今後「阪南公設市場跡地」に関しては、「阿倍野区防災空間整備事業」として、市・区・消防局を含めた関係各局と共に、地域住民の皆様が参加しながら「どのような設備を整えた公園にするか」という計画段階から、維持・管理等に至るまで協議を行うこととなります。

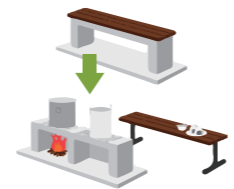
自分たちの住む地域の課題・問題を住民同士で話し合い、物事が決まるまでの過程を理解し合う。また、決まったことは責任をもって行動し、住民同士、お互いを支え合い、助け合うという地域社会。さらに、自らできることをできる範囲で行い、そして、その支援を行政がする。これこそ「住民自治」の本質ではないでしょうか。私自身、要望書を提出させて頂いたのも、阪南地域の皆様の住民自治のサポートになればとの思いでした。自助・共助・公助が大切な現在、政治家に求められるひとつにはその橋渡しの役割であり、常に住民の皆様との身近な政治家でありたいと改めて感じました。

阿倍野区内の防災活動拠点の一例 まつむし広場



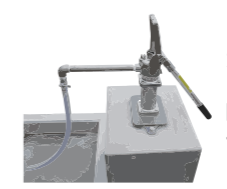
《防災公園等で設置されている設備の事例》

● かまどベンチ



通常時はベンチとして使用しますが、災害時には座席をはずすと「かまど」として利用できます。

● 手押しポンプ



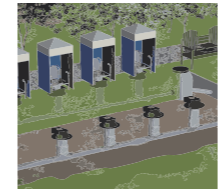
水道などのライフラインがストップした時に利用できる、手動のポンプ。災害時には水洗トイレ用水、消火用水など汲み上げに利用します。

● ふじ棚・パーコーラ



普段は休憩施設として利用し、災害時にはテントを張ることにより、風雨を避け、寒さ対策の役割も果たします。救護室や支援物資の保管・仕分け場所等に利用できます。

● 仮設トイレ用マンホール



下水道管路上に直接仮設トイレを設ける設備です。下水道に直結しているので汚物を直接流すことができ、滞留・流出に伴う伝染病の発生など、衛生状態の悪化を防げます。

● 耐震性防火水槽



地中に埋め込まれた水槽で、災害時の同時多発火災に対して、水道管が寸断された場合であっても、消火活動に活用できます。

● ソーラー発電の公園灯



停電した場合でも、ソーラー発電により照灯することができます。この灯かりを目印に避難場所が分かりやすくなります。

阿倍野区避難所一覧

* 一時避難所は除く

避難所名	所在地	避難所名	所在地
高松小学校	天王寺町北3-17-19	昭和中学校	桃ヶ池町2-3-17
常盤小学校本校	松崎町3-11-12	阿倍野中学校	昭和町3-2-4
常盤小学校分校	松崎町3-2-9	阪南中学校	北畠1-16-24
金塚小学校	旭町3-4-46	工芸高等学校	文の里1-7-2
苗代小学校	阪南町1-26-30	天王寺高等学校	三明町2-4-23
丸山小学校	丸山通1-4-43	阿倍野高等学校	阪南町1-30-34
長池小学校	長池町20-26	住吉高等学校	北畠2-4-1
阿倍野小学校	阪南町2-17-21	あべの翔学高等学校	天王寺町南2-8-19
清明丘小学校	清明通10-34	明浄学院高等学校	文の里3-15-7
清明丘南小学校	帝塚山1-23-8	大谷高等学校	共立通2-8-4
阪南小学校	阪南町5-7-40	東大谷高等学校	共立通2-8-4
大教大附属天王寺小学校	松崎町1-2-45	桃山学院高等学校	昭和町3-1-64
文の里中学校	美章園1-5-52	大阪キリスト教短期大学	丸山通1-3-61
松虫中学校	松虫通3-4-45		

日頃から準備しましょう

緊急時持ち出し品の例

